

ニュースリリース 2013.10.30

株式会社オンワード樫山

～第6回リサイクル毛布の配布について～

オンワードの回収衣料から作ったリサイクル毛布4,000枚を

ネパール連邦民主共和国へ10月24日に寄贈

株式会社オンワード樫山（本社：東京都中央区 代表取締役社長：馬場 昭典）は、環境・社会貢献活動の一環として、当社の回収衣料から作ったリサイクル毛布4,000枚を、日本赤十字社の協力のもと、南西アジアの最貧国であるネパール連邦民主共和国に10月24日（木）に寄贈しました。

ほし

当社では、“この地球を想う。この服をまとう。”をコンセプトに、経営の重点施策の一つとして、環境経営を推進しています。その一環として、ご愛用いただいた当社の衣料品をお引き取りし、回収衣料を可能な限りリサイクル・リユースする衣料引き取りキャンペーン「オンワード・グリーン・キャンペーン」を実施しています。さらに、社会貢献活動として、回収した衣料の一部からリサイクル毛布などを生産し、日本赤十字社を通じて世界の難民や被災地支援のために寄贈しています。

第6回目の寄贈先であるネパール連邦民主共和国は、多くの美しい自然景観と歴史的な文化遺産から、別名「神々の住む国」とも言われていますが、経済面では、①開発の遅れ、②高い人口増加率、③インドからの物資輸送への依存度が高いことなどの理由から、南西アジアで一人あたりの所得水準が最も低い低開発国に位置しています。

自然災害も日常的に発生しており、モンスーン期には洪水など自然災害が多発しており、世界の「災害多発20カ国」の一つに挙げられています。また、1934年にはマグニチュード8.4の大地震が発生しており、近い将来には首都近郊で同様の大規模地震の発生が危惧されています。

この様な厳しい環境で暮らすネパールの貧困層の方々に、皆様からお引き取りした衣料から作った毛布4,000枚を配布させていただきました。

なお、今秋の引き取りキャンペーンは、全国主要百貨店20店舗で9月20日から11月6日（期間は店舗によって異なります）まで実施し、約2万8千人のお客様から約15万点の衣料をお引き取りできる見通しです。この回収衣料の一部から新たにリサイクル毛布を作り、日本赤十字社の協力のもと、世界の難民や被災地支援のために活用していく予定です。



毛布配布に喜ぶ児童施設の子どもたち（カトマンズ）



毛布を手にする老人施設の方々（カトマンズ）

第6回 毛布の配布先と数量について

地域	枚数	カテゴリー
カトマンズ	253	老人施設
	122	児童施設
	11	障がい者施設
	780	孤児施設
モーラン	350	病院
バンケ	141	洪水被害者施設
	143	障がい者施設
ダクタ	38	老人施設
	11	孤児施設

カスキ、ポカラ	35	老人施設
	75	リハビリテーション施設
チトワン	405	老人施設
	50	障がい者施設
	515	病院
グルミ	75	病院
	150	老人施設
ウダヤプール	225	障がい者施設
	75	病院
バクタプール	101	老人施設
	45	孤児施設
その他地域	400	刑務所
合計	4,000	